◎授業事後検討会記録用紙

第（３）学年「　明かりをつけよう　」

記録者（　日塔　はぎ乃　）

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 内容 |
| 自　評  グループ討議  Gグループ  Hグループ  指導・助言 | ・同指導案で同じ授業を違う教諭が１時間，授業者が１時間行った。  ・活動でうまく明かりがつかずに時間をオーバーしてしまい，まとめの時間が足りなかった。  ・児童が根拠を持って意見を述べられるように，前時の活動を踏まえて意見を言えるように工夫をした。  ・前のクラスでは缶を削る意見が出たが，本時では出なかった。  ・終末の深めるところは自由に活動できた点が，児童が楽しそうでよかった。  ・金属の様子の言葉が豊富に出た。ほかのクラスでは，カンカン鳴るというような意見もでた。  ・児童が楽しく活動できたことが何よりよかった。  〈成果〉意欲を高める工夫（自作テスター・調べる物・写真）  　　　　児童がきちんと理由をつけて発表できていた。  　　　　板書がわかりやすかった。  　　　　グループの人数  〈課題〉金属探しは次の時間がよかった。もう１時間使って，  　　　　個人で考えてからグループ活動。  　　　　スチール缶を削るという方法を教師がうまく提示したかった。  〈改善策〉  〈成果〉グループで協力しながら答えを出していた。  〈課題〉言葉でまとめる時間の確保  　　　　自作教材は愛着が湧くが，不具合がある・コストがかかる。  ・児童が素直で日頃から楽しく授業をしている様子が伝わってきた。  ・調べる物の選択  　本時はあえて分けにくい物を選んだ。メッキしてある物や材料が違う物を取り上げることがよかった。私は，わかりやすいものを使ってさらに広げて  ・テスター  　実験をする前にきちんと作動するか確認することが大切。鰐口クリップを使うとメッキをはがすことができる。回路の定義を浸透させる。  ・まとめ  　二通りのまとめは教科書通り。１つではだめか？金属は電気を通す。  ・活動  　活動を取り入れるのは重要。身近な物を自分で調べて深めること  ・東北の理科教室は昔から教材を開発してきた。これからの教員にもその伝統を  ・よい授業のイメージを持って授業をすること  ・教科書の流れに沿って授業をしなければという意識が  　自分で理解をして工夫をしながら授業を組み立ててほしい。  　専科の先生が増えて，理科好きの先生が減ってきている。理科のすばらしさをもっと感じてほしい。 |